

令和 7 年 10 月 10 日

東員町議会運営委員会

委員長 山崎 まゆみ

研 修 報 告 書

研修期間	令和 7 年 9 月 2 9 日 (月) ～ 9 月 3 0 日 (火)
研修 (視察) 先	2 9 (月) ・ ・ 長野県宮田村議会 (役場庁舎) 3 0 (火) ・ ・ 長野県伊那市議会 (役場庁舎)
目的 (テーマ等)	「議会改革」について
参加議員名 (複数の場合)	東員町議会運営委員会 委員 6 名と 議長、議会事務局長
資料添付の有無	有 ・ (無)

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

《研修概要、内容》

29日（月）13：30～15：00 宮田村議会視察

宮田村の概略・・・住民投票を実施し、平成大合併の時期に、合併せずにいくと決めた。

議会改革度調査 全国1位、 住みたい村調査 全国1位

「議会改革について」

説明者＝ 宮田村議会事務局長 上条氏

宮田村議会議長 川手氏

（副議長 小林氏）

《事前質問の回答を中心に》

①「宮田村議会むらびと会議」（一般委員9人、高校生委員8人）について

【要綱】

公募して30名以内とする。日当＝半日¥3,000。協働の村づくりを村民、議会、行政3者で行う。

- ① 議会の評価と提言 ②議会だよりの評価と提言 ③議会懇談会の評価と提言
- ④ 講演会開催（議員と住民が参加し、講演会後に意見交換する）

◎高校生の関心が高いため、夏休み期間中に集中して実施する

②「宮田村むらづくり基本条例」

村民、議会、行政それぞれが対等な立場で、村づくりに対するためにそれぞれの役割を定め、住み良い宮田村の実現を図ることを目的とする。

③「議会機能強化特別委員会」

5名の議員で構成する。

（1）議会の法令 （2）住民参加 （3）デジタル化 （4）議会施設
に関する事件の調査を行い、議会の機能強化を図ることを目的とする。

◎主な取組

「議会議員政治倫理条例」「議会議員ハラスメントの防止等に関する要綱」等の
条例整備や改正のほか、議場バリアフリー化など。

◎請願・陳情の受付を電子化可能とした

電子メールで受け取ることができる

◎一般質問後、議会運営委員会において、一般質問の反省会を実施

④子ども議会

- ・中学校3年生の総合的な学習の時間で実施するため、教育委員会主導
- ・子ども議会で出された提案が行政各課が対応する

⑤議会広報広聴会議

- ・議員11名で構成する
- ・3本の柱「議会懇談会の企画」「議会むらびと会議の運営」
「議会だより・議会HP作成」

⑥議会評価報告書

議会の役割及び責務を果たすと共に、議会の機能強化に努めるため、前年の議会活動を対象とした内部評価と外部評価を行っている

⑦議会懇談会・議会なんでも相談室

《議会懇談会》

議会と住民がいつでも意見交換をする場として、議会懇談会を開催している。
懇談内容を議会活動に活かす。

《議会なんでも相談室》

村民イベント会場で、議員が常駐するブースを設置して、住民が気軽に話せる場の提供をして、意見をもらう。(於；村民文化祭ほか)

⑧「通年制議会」に関する考え方

通年制議会の実施は無理であると考えている。

通年制についてのやり方や、メリットについて、議論に上がらない。

30日(火) 10:00～11:30 伊那市議会視察

伊那市の概略・・・関東、中京圏の工業の進出

ここ20年間で40社以上の企業(一部上場の精密機器の企業)

企業誘致し、一時、二次、三次産業バランスが良い。

昨年一年間での転入人口は358人と最多記録。移住の20～40歳代が8割。(雇用がある上に、より良い子育て、教育環境を求めた『教育移住』が多い。)社会動態で257人プラスで、人口減少に歯止めがかかっている。移住相談件数、空き家バンクの登録数も増加。

「議会改革について」

説明者＝伊那市議会議長 田畑氏

伊那市議会事務局 事務局次長 伊藤氏

《事前質問の回答を中心に》

①議会における主権者教育の方法について

市議会議員選挙が無投票となったことを契機に、全議員参加で

『魅力ある議会づくり検討会』を設置(平成30年6月)

◎若い世代、特に高校生に議会への関心を高めてもらうため、高校生の議会傍聴、高校生との意見交換などの企画を決定。

- ・市内の全高校を訪問し、議会傍聴や意見交換会の実施を依頼する(R4年度～)
- ・意見交換会

生徒代表3～4人を決める→生徒と議員のグループ討議→

→グループ討議の発表→生徒の感想発表(全員)

＜懇談のテーマ＞

- ・この地域の良いところ
- ・議会に若者の力を取り入れるには
- ・その他生徒からの要望
- ・探求学習として「防災ゲーム」体験

◎生徒から出された意見を市議会で検討し、実施できることをしていけるように

- ・通学路の街頭増設
- ・公民館のロビーも学習スペースとして利用できるように依頼

◎「中 2 興味あるある選挙」について

1 位 ゲーム・アニメ

2、3 位 将来のこと、部活動のこと

4 位 暮らしている町のこと

◎「伊那市議会取り扱い説明書」(通称；とりせつ)

・中学生に議会のことを説明するため

・18歳になったら投票に行こう。などのよびかけ

②「市民と議会との意見交換会」について

「議員とトーク」・・・6会場でのべ82人の市民が参加

ワークショップ形式

テーマ設定は常任委員会ごとに設定するか、所管事務調査内容

★グループ人数は少ない方が、意見をしっかりと伝えて参加者の満足度が高い

★議会だよりに掲載

★出された意見を常任委員会に振り分ける

★担当部署の状況確認

★議会としての考えのまとめをする

★報告書にまとめて、HP 公表と会場に冊子配布

《課題》・政策提言への反映・参加者数増やす・開催方法の工夫

③議会改革特別委員会の設置 (R4 年 6 月～R6 年 3 月)

議会からの政策サイクル 一年の流れ

・議員間討議でテーマ決定(3委員会それぞれ4～5ずつ)

・議員間討議で提言案を決定して、2月に提出

・議員提言を受けた執行部からの報告を3月に受ける

《所 感》

宮田村、伊那市両自治体共に、住みやすさ、雇用確保のために、行政と議会それぞれが努力されていて、教育環境、住環境、企業誘致が効を奏して、人口減少に歯止めをかけているところが注目度、素晴らしいと思います。

まず「宮田村議会むらびと会議」では、高校生にも関心を持ってもらえるようにと、一般委員とほぼ同数の高校生委員を選ばれています。むらびと会議の委員には日当を支払われ、議会活動、議会だより、議会懇談会への評価と提言というシステムから、主権者教育の実践があり、同様に伊那市議会においても高校生の議会傍聴や意見交換会を率先して取り組まれていて、高校生の意見をまちづくりに反映されている様子に感銘を受けました。

東員町議会も「子ども議会」実施に関する協議が中途半端になっているため、実施できるようにするための協議として、今回視察の両議会のやり方を参考にしていけると良いと思いました。教育委員会の総合学習の教材とするなど、実施方法の検討が必要なので、その他の子ども議会の実施例なども参考にしながら、検討し、教育委員会との連携で子ども議会の実施に向けていけたらと思います。

宮田村の「議会評価報告書」、伊那市の「魅力ある議会づくり検討会」の設置、双方と

もに、議会活動の反省をきちんとしていることと、議会の活動の見える化をされている様子も見習いたいと思います。

意見交換会の必要性は東員町議会においても、近年取り組みを強化していますが、伊那市議会のように高校生の意見交換会の参加機会を積極的に求めることは、チャレンジしてみる価値があると思います。

宮田村議会で、イベントに議会ブース設置して気軽に住民の方がなんでもお話していただけるという工夫が感じられる「議会なんでも相談室」という取り組みにも感銘を受けました。

伊那市議会が中学２年生に実施されている「中２興味あるある選挙」については、実際の選挙の投票を疑似体験できることと、投票結果は低い順位ではありましたが、「暮らしている町のことに興味がある」と投票した生徒がいたことには、目を見張るものがあります。気難しく身構えてしまうばかりでは、中高生が敬遠してしまうので、このように、楽しく取り組んでもらいながら、地域や議会への関心を持つ子ども、若者を増やせるようにする取り組みの様子を参考にさせていただいて、実践出来たら良いです。東員町議会でも果敢にチャレンジしていきたいと感じました。

伊那市議会の「議会改革特別委員会」の設置されていた期間中に、議会からの政策サイクルとして、一年間の議会スケジュールの中に、①議員間討議でテーマを決定することから、②そのテーマに関する調査をしっかりと、③提言案を議員間討議で決定し、執行部に提言として２月に提出する。④そして執行部からの回答、報告を３月に受ける、という流れは、東員町議会で事務事業評価の実施について、検討しているところですが、参考にさせていただける内容です。

『議会改革』は議員のためのものではなくて、住民の為、より良い、住みやすい町づくりを進められるように、議会がしっかりと機能できるようにするためのものであると言う事を今回の視察で強く再認識させられました。

今回の両議会の視察で得た知見を参考にしながら、今後、議会運営委員会で協議していきたいと思います。委員長としての任務を今後もしっかり務められるように、議会運営委員会を民主的な進行ができるように、引き続き全力を尽くしていきたいと思います。



